

# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟



写真で見る  
2021クラスマッチ  
6/23(水)~24(木) ③



先生も一生懸命  
頑張りました



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟



写真で見る  
2021クラスマッチ  
6/23(水)~24(木)②



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟



写真で見る  
2021クラスマッチ  
6/23(水)~24(木)①





# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 令和4年度から実施される新学習指導要領にあわせて「総合的な探究」の時間を重視し地域との連携を強め生徒が自らの意思で学び発想力を広げ深められるカリキュラム導入



参加していただいたマスコミ  
岩手朝日テレビ・岩手日報  
岩手日日・読売新聞



石川一郎先生(略歴)  
北上学園理事、聖ドミニコ学園カリキュラムマネージャー。1962年(昭和37年)東京都生まれ。早稲田大学教育学部社会学科地理歴史専修卒業。時事国際学園、ロサンゼルスインターナショナルスクールなど



記者会見に臨む(左から)阿部 伸校長 石川一郎先生(北上学園理事)

### 専北学びの改革 「自分らしい進路の実現」に向け、科名・コース・専攻 が変わります

2022年度入学生から  
1年生 2年生 3年生



20年からの教師問題(ベスト新書)「学校の大きな問題」(SB新書)「先生、この問題教えられるはずか」(洋泉社)「教員採用用学生徒募集と同じ」(東京図書)

DLコースは進路に合わせて必要な教科が選択でき、より深い学問探究に向けた広く深い学びの実践の「学問探究専攻」、自分の学びを活かすプロジェクトの推進のProject Based Learning(PBLコース)の2コースがある。

PBLコースは、2年生、3年生で探究の時間を1週間に4時間〜5時間を設け、生徒が自らの意思で学び発想力を広げ深められるようなカリキュラムとなっている。

ALコースは専門性の高い授業が受けられるように「福祉・保育・幼児教育専攻」「情報ビジネス専攻」「スポーツ専攻」の3専攻が設けられる。

商業科は、地域・世界のビジネスを創ることに力点を置き名称を「グローバルビジネス科」と変更する。

自動車科は「安全・安心・未来を創るエンジニアになるため技術力を磨くカリキュラムとなっている」。

6月22日(火) 午前11時より本校会議室で、令和4年度から実施される新学習指導要領にあわせて、普通科、商業科、自動車科3科のコースや名称を全面的改編の発表記者会見が行われた。

# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 専修大学北上高等学校「第1校舎建替え設計ワークショップ」 NASCA・渡辺設計事務所・アトリエRの設計共同体の皆さんと 29名の生徒が参加し「地域連携の拠点となる魅力的な新校舎」模索



早稲田大学創造理工学部古谷誠章教授から「敷地の特性を生かし、現存するものを活用し、無いものを創り出す」「3学科の具学年が出会い、教員とも日常的に交流する学び舎をつくる」「まちを学びの実践の舞台に、学校の存在が地域を活性化し、北上の未来を育む」3つのプロポーザル案の説明をいただきました



今回のワークショップで高校生の皆さんからたくさんのアイデアを出してもらいました  
この意見を集約し、8月末基本設計、令和4年(2022年)2月末実施設計、4月に着工  
令和5年(2023年)3月竣工、4月新校舎使用できるように進めていく予定

# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

6月19日(土)午後1時30分から講義室を会場に  
NASCA〔ナスカ〕・渡辺設計事務所・アトリエRの設計共同体の皆さんと  
29名の生徒が参加して「第1校舎建替え設計ワークショップ」が開催されました

## 2022~23年 専大北上が大きく変わる

2022年 新カリキュラム・新コースでの

「新しい学び」本格スタート

2023年 新校舎完成

より自分らしい学びの実現へ



6月19日(土)午後1時30分から本校講義室を会場に専修大学北上高等学校第1校舎建替え設計ワークショップが開催されました。

NASCA(ナスカ)(東京都)渡辺設計事務所(盛岡市)アトリエR(北上市)の設計共同体の皆さんと29名の生徒が参加して行なわれました。

阿部伸校長先生からの挨拶のあと、NASCA(ナスカ)共同主宰一級建築士の古谷誠章(ふるやのまあき)早稲田大学創造理工学部教授からプロポーザル案及び現在の検討案の説明と「生徒と教職員が生活する舞台としての学校の」のレクチャーが行なわれました。

休憩後、午後2時40分から古谷誠章早稲田大学創造理工学部教授の研究室(大学院生)4名も加わり「専大北上のいじりごと」/新校舎に何を期待するか」の3つのテーマのもと、グループディスカッションが行なわれ、4つのグループから発表が行なわれ、全体として意見をまとめました。

## ワークショップ



早稲田大学  
創造理工学部  
古谷誠章教授



阿部 伸 校長



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 高大接続研究事業特別講義「総合科目」6月16日(水) 石巻専修大学 経営学部情報マネジメント学科 浅沼大樹 教授 「勉強することの意味を勉強する」



令和3年度高大連携事業「総合科目」の第6回目経営学部情報マネジメント学科の浅沼大樹教授による「勉強することの意味を勉強する」というテーマでリモート授業をしていただきました。

浅沼教授は北海道大学経営学部の卒業生で、その後旭川大学で教鞭を取られ、2013年から石巻専修大学にお勤めになられています。

まず初めに、大学に進学することによって豊かになる人とは限らないというお話を、日本における高校生の進学率や、他の先進国との実質賃金指数を比較しながらお話いただきました。

実質賃金指数とは、各国における1970年の平均賃金を100で揃えたときにそこからどれだけ賃金が増えたり減ったりしたかを表したもので、他先進国は現在に至るまで上昇し続けているが、日本は緩やかに下降し続けているとのことでした。



日本の高校生の進学率は専門学校などを含めると80%を超えており、4年制大学への進学は50%以上であるが、豊かな人生を送るために進学をする学生が増える中で、進学し豊かな人生という考え方が必ずしもそうではないかもしれない現実があるとのことでした。

では何のために勉強するかを考えたときに「学びの再設定」が必要であるとのことでした。そのために、①まずは勉強は少しできないものであることを社会人になってから自ら何かを学びたいと思ったときのために勉強のやり方を身につけておく必要があること②社会を形成する多くの抽象的な事象や物事を理解するために言葉や論理的な思考が必要不可欠であること③という3つのポイントをお話いただきました。



最後はこれからの人生において社会は必ずまず不安定になっていくが、自分が何を知らないかを知ることやめやす、もっと勉強しておけばよかったと後悔しないよう、社会から勉強することを許可されている期間である今を大切に、残りの学生生活を有意義に過ごして欲しいとのことでした。

自分の人生を自分で決まて行くために学びの意味を再設定する必要があるとのことでした。



以下は、受講生徒の感想です▼高校生のうちに勉強しておくことが必ず将来に繋がるといふことを改めて知ることができてよかった▼今までの勉強する意味とは全く違う勉強する意味を知ることができたので、勉強の仕方について改めて考えさせられたし、今しか勉強する時間がないということを感じられた▼当り前に勉強ができるのは人生100年時代と言われていた現代において、16年間しかないという瞬間に気が付いたこと▼今の厳しい現状についても知れたし、これから自分たちがどのような考えでいけばいいのかもなんとなくわかった▼自分から勉強したいとは思っていませんでしたが、何のために勉強しているのか考えることができた▼今の時間を大切にしなければならぬと考えることができた▼自分がやらなければならない勉強のやり方を身につけることが大切と学んだこと▼勉強することの意味を知ることができたし、大学に入る意味も知ることができた▼人間は20万年前から変わっていないことを知れたこと▼今の時代大学行けばいい生活をお

くれるにつながっていないこと▼勉強の意味を改めて考えたし、大学に行くことの意味も理解でき、勉強意欲が少し上がった。勉強することには自分の実力を高めることに繋がるとも分かったこと▼今勉強していることが、社会に出てからどのように生かされていくのかをしっかりと勉強しようと思った▼勉強についてわかりやすく教えてもらい理解しやすかった。今何が必要なのかもわかった▼勉強することの意味を再考するきっかけになったと思う▼自分がなんのために大学に行くのかを再確認できてよかった▼内容が難しくきて理解が追いつかなくなってきたけど、ゆっくりと説明してくれたので、ちゃんと理解できた▼知らないことを知っておき、逆に知っていることも知っておくことが大



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 第15回春季東北地区高校軟式野球大会

# 決勝戦 延長14回タイブレーク惜敗準優勝 専大北上0-2仙台育英



夏につなげる  
「堅守に積極走塁」堂々の戦い



6月12日(土)～6月15日(火) (山形県鶴岡ドリムスタジアム)

▽1回戦  
専大北上(岩手県第1代表) 0100000010 2  
0001000000 1  
能代(秋田県)  
(専)佐藤瑞聖・菊池恋 (能)高橋一裕田

盛岡商業(岩手県第2代表) 0000000000 0  
10000200x 3  
羽黒(山形県)  
(盛)田村一山口 (羽)相沢、加藤一、村上、池田、二塁打 佐藤(羽)

▽準決勝  
弘前工業(青森県) 00000000 0  
201031x7  
専大北上(岩手県第1代表)

(7回コールド)  
(弘)佐々木、三戸一星 (専)岡本歩武、藤田陽人、藤田陽人(自3年)、菊池恋

▽三塁打 岡本歩武  
▽二塁打 加藤一、藤田陽人、自3年、(遠野中出身)の連打などで点を先制。5回に3点を追加した。

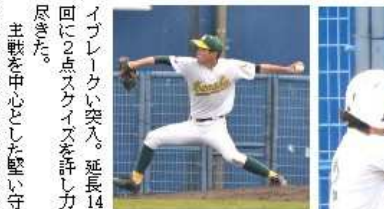
先発した 本志武(商1年)(湯本中出身)、藤田陽人のリレーで得点を許さなかった。

▽準決勝  
仙台育英2-1 羽黒 (宮城県) (山形県)



▽決勝  
仙台育英 0000000000  
専大北上 000002 2  
000000 0  
(延長14回、13回からタイブレーク)  
(仙)郡山、吉野、林、横山  
(専)佐藤瑞聖、岡本歩武、菊池恋  
(評)専大北上は初回2死一、二塁、小田島悠大(商3年)(和賀東中出身)が好打球で先制を阻まれた。主戦佐藤瑞聖(商3年)(和賀東中出身)が延長12回まで4安打無失点に抑え、タイブレークで先制を阻まれた。

主戦佐藤瑞聖は内角に直球、外角にチェンジアップと丁寧な投げ分け、打たせて取った。自らの送球ミスと盗塁でピンチを招いたが、相手打者の初球の見送り方で狙い球を察知し、外角いっぱいのカリーブでバットに空を切らせた。



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 昭和52年(1977)からスタート今年で44年目 生徒会執行部列車マナー誓約書・美術部ポスターを北上駅へ提出



233名の誓約書北上駅長へ提出



6月14日(月) JR東日本北上駅にて列車マナー誓約書と美術部作成の啓発ポスター18枚を提出してきました。

令和3年度の列車通学生は233名で、全校生徒の32%です。代表して、生徒会副会長普2年小田豊唯音が

初めて立ち会った赤石浩司さんからは、昭和52年から44年も続く生徒会の取り組みには大変驚き、また、

- 北上駅長・副駅長さんから生徒の皆さんへお願い
- ①混んでいる時は、車両の中ほどまで詰めてほしい
  - ②ホームでの歩きスマホ・両耳イヤホンは安全確保のためやめてほしい
  - ③目と耳、両方を使って、周囲の安全に気を配ることを心がけてほしい
  - ④両耳イヤホンをする際は、構内放送がしっかりと聞ける音量にしましょう。
  - ⑤イヤホンを使用する際は、いつも以上に周囲の状況に気を付けましょう。
  - ⑥ワイヤレスイヤホンの落とし物が多発しています。
- 乗降の際はスマホの操作はやめましょう。
- ⑦車内への忘れ物に気を付けましょう。傘の忘れ物が特に沢山あります。

さん(和智西中出身)生徒会総務かつ美術部の普2年小澤可南さん(水沢中出身)と同じく美術部の普1年高橋幸月さん(上野中出身)の3名が訪問。

駅では、北上駅長の山口一さん、副駅長の熊谷由美子さん、盛岡支社サービス品質改革室室長の赤石浩司さんをはじめ、多くの駅職員の方が歓迎してくれました。

誓約内容の一つである体の不自由な方への配慮には非常に感謝を受け、是非積極的に取り組んで欲しいという挨拶をいただきました。

# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
In 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 高大接続研究事業特別講義「総合科目」6月2日(水) 石巻専修大学 理工学部 機械工学科 亀谷裕敬 教授 「新製品開発とメーカーの仕事」



高大接続事業「総合科目」第5回は、6月2日(水)石巻専修大学理工学部の亀谷裕敬教授(博士)による「新製品開発とメーカーの仕事」と題するリモートによる授業でした。

亀谷教授は、日本の大手電機メーカーである日立製作所に勤務され、業務用エアコンや冷蔵庫に用いる圧縮装置の研究開発に長年携わってこられ、文部科学大臣奨励賞を受賞されたこともあります。以下、今日の講義の概要です。

私は、今まで長くモノづくりに携わってきましたが、日本の労働者を産業別に分けて分類すると、製造業従事者が一番多く、全体の約17%を占めています。石巻専修大学のある宮城県はもちろんです。専修大学北上高等学校のある若手県にも多くの有名なメーカーがありますね。例えば、自動車メーカーがありますか?トヨタ自動車とその関連企業、キオクシア(旧東芝メモリ)、シチズン、他にも食品製造会社は様々

あります。かつては新日本製鐵(釜石)が大きな有名企業です。岩手を「田舎」ととらえる人も多いと思いますが、実は全国的に有名な企業も多いためです。モノづくりについては、職人の世界だといわれて、最初から最後までやっている場合もあります。スマートフォンや自動車、家電製品など、新製品ができるまでにはかなりの人間が関わっています。そしてそこには意外と文系の人間が多く関わっているのです。製造業の会社のしくみは、およそ開発・生産・顧客対応の3つの領域をもつ組織から成り立っています。人数が増えればその分、開発・生産・顧客対応それぞれに携わる組織が細分化されたり、場合によっては外注したり別会社をたてたりすることがあります。大企業であるトヨタ自動車などは、研究・製造・販売などそれぞれの会社で行われています。

私は開発の領域に長年いました。開発の領域でやることは、世の中になんか(新製品)を実現して皆さんに喜んでもらう、というものです。しかし、新製品のうち商品として成功したのは約1割くらいのもので、従来製品より性能も良く、確かな自信を持っていて、市場が受け入れない、つまり全く売れない事もあり悩んだものです。新製品の企画においては、「何が売れる?」「何が売れる?」「何が売れる?」「何が売れる?」という問いが重要です。企画の領域に向く人は、「半

歩先のスタイルを想像できる人」です。あまりに先に行き過ぎているアイデアは実現不能か、あるいは売れません。その時代の「半歩先」というのが重要な感覚になります。ここにいる経営人は文系の人が多いようですが、文系の人の力が発揮されているのです。また、新技術に関する特許やデザインやロゴなどの意匠については、知的財産管理、法務や許認可という領域の仕事になり、この分野にも

▼開発の際の失敗を体験に成功を目指すという言葉から普段からそのように考えて挑戦しようと思えてよかったです。▼私はスポーツメーカーで働きたいと思っていたのでメーカーの仕組みを知ることができてよかったです。▼自分が思っていた以上に新製品開発に色んな仕事に関わっていた。それそれの仕事のやりがいや大変なところを知れてよかったです。新製品開発の過程にいろいろ関係があったその人

それそれぞれの役割があることがわかった。▼今までは自分が知っていたことにプラスして新しい知識を増やすことができた。何を言っているか理解できた。▼今回の講義を受けて、新しいものの開発に至るまでどんなことを大切に開発されていくのかだんだん少くもなところまでされたのが良かった。▼大規模な会社は役割ごとに別会社として別な場所でも働いているということが分かってよかったです。▼大学卒業後の進路を考えたとき、きつかった。▼エンジニアの仕事は自分も興味のある仕事なのでどんな能力がほしいのかわかったし、どのくらい大変なのかわかってよかったです。▼新製品の開発はこんなに難しく大変なことだと思わなかった。開発の大変さを知れた。

文系の人達が関係しています。ちなみに特許申請などに関わる弁理士という仕事があります。ニュースは多くありお勤めの資格の一つですよ。

今日のレポートは、ミニテストも兼ねられたものであり、講義中メモをとりながら生徒たちは話に聞き入っていました。以下は受講生達の感想です。

それそれぞれの役割があることがわかった。▼今までは自分が知っていたことにプラスして新しい知識を増やすことができた。何を言っているか理解できた。▼今回の講義を受けて、新しいものの開発に至るまでどんなことを大切に開発されていくのかだんだん少くもなところまでされたのが良かった。▼大規模な会社は役割ごとに別会社として別な場所でも働いているということが分かってよかったです。▼大学卒業後の進路を考えたとき、きつかった。▼エンジニアの仕事は自分も興味のある仕事なのでどんな能力がほしいのかわかったし、どのくらい大変なのかわかってよかったです。▼新製品の開発はこんなに難しく大変なことだと思わなかった。開発の大変さを知れた。



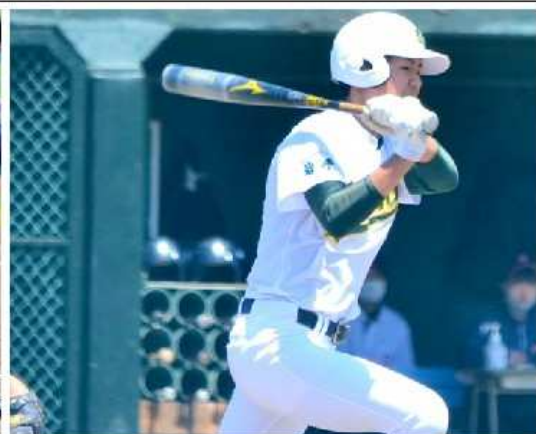
# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

第73回岩手県高等学校総合体育大会

## 専大北上軟式野球優勝 6大会連続17度目の優勝



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 第73回岩手県高等学校総合体育大会

# 専大北上軟式野球優勝 6大会連続17度目の優勝



5月30日(日)～6月1日(火) (紫波運動公園球場)  
 △準決勝 00000000  
 盛岡一 00000000  
 専大北上 221120×8  
 (7回コールド)  
 (感) 是永、広田、平野、千葉  
 (専) 佐藤智聖  
 △三塁打 佐々木翔空(菊池恋)  
 藤田陽人(専)  
 △二塁打 小田島悠太(専)  
 加藤伯(専)  
 平藤(感)

盛岡商業 5000000027  
 黒沢尻工 0000000000  
 (8回コールド)  
 (感) 田村、山口  
 (黒) 小田代、高橋、高橋  
 △二塁打 箱石(感)  
 △決勝 盛岡商業 0000000000  
 専大北上 000001030×4  
 (感) 田村、山口  
 (専) 岡本歩武(菊池恋)  
 △二塁打 菊池恋(専)

※6大会連続17度目の優勝  
 (評) 決勝の舞台で、公式戦初先発の1年生岡本歩武投手(商1年)(湯本中出身)が専大北上を6大会連続17度目の優勝へと導いた。  
 130mの直球と縦横に変化するスライダ―を武器に、盛岡の好調打線から11等三振、無四球と制球が抜群で90球で試合を終わせた。  
 打線では、3番の加藤伯選手(商3年)(和賀東中出身)3安打2打点(快音を響かせ勝利に貢献した)。5回2死二塁、右前に待望の先制通時打を放つ。7回にも1死三塁から内野安打で貴重な追加点を奪った。



無四球・11三振を奪い90球で  
完封勝利した1年生の岡本歩武投手

# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

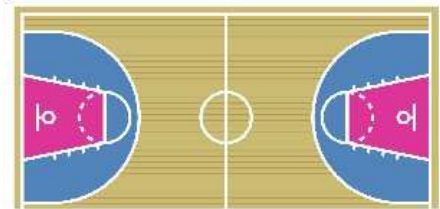
第73回岩手県高等学校総合体育大会

## 男子バスケットボール・ベスト8



優勝した盛岡市立高校に  
準々決勝で敗れましたが、  
チームの一つの目標であ  
ったベスト8を達成する  
ことが出来ました。  
高校総体が中止になっ  
てしまった昨年度の3年生5  
名と共に掲げていた目標で  
もあったので、達成出来て

本当に良かったです。  
チームを支え、応援して  
くださった皆さん、本当に  
ありがとうございました！  
今後も、チームはさらなる  
高みを目指して成長して  
いきます。引き続き、応援  
本宜しくお願いします。



- ▽2回戦 専大北上 83 - 54 関高専
- ▽3回戦 専大北上 62 - 59 盛岡第四
- ▽4回戦 専大北上 49 - 41 花巻北
- ▽準々決勝 専大北上 59 - 114 盛岡市立
- ※専大北上ベスト8 (59チーム出場)



ベスト8決定時 集合写真

# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

第73回岩手県高等学校総合体育大会

## 60kg級 第3位 夏井将彦 〔商業科3年〕 (水沢中出身)



5月30日(日)  
▽60kg級  
第3位 夏井将彦  
(宮古市民総合体育館)



賞状  
第73回岩手県高等学校総合体育大会  
レスリング競技  
男子個人対抗戦60kg級  
第3位  
専修大学北上高等学校  
夏井将彦  
栄誉をたたえらる  
令和3年6月30日  
岩手県教育委員会



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 専大北上女子サッカー優勝 8大会連続8度目の優勝



岩手県大会8大会連続8度目の優勝を果たしたが、今度はインターハイ初符獲得を目指し、東北選手権で宮城県や福島県の強豪と対戦する。女子サッカー部員の更なる活躍を期待したい。

開始直後の前半5分MF平野佑和選手(普2年)(花巻北中出身)が先制ゴールをたたき込むと、MF及川純奈主将(普3年)(飯豊中出身)がテンポよく攻め込んで10得点。後半は、相手GKの位置を見て、かわりど浮かせたシュートで16点目もMF及川純奈主将が決め、チーム最多の4得点。まさしく主将が大車輪となりチームの勝利に貢献した。

5月31日(月)  
▽決勝  
専大北上17-0水沢  
前半10-0  
後半7-0  
(評)専大北上は自在な攻撃で17得点を奪い、水沢高校を圧倒し、8大会連続8度目の優勝を果たした。



# 攻撃自在、17得点





# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 第73回岩手県高等学校総合体育大会

# 専修大学北上高等学校男子サッカー優勝 2大会連続2度目の優勝 福井県で開催されるインターハイ出場



5月22(土)〜5月31日(月) (北上総合運動公園 第2運動場・いわぎんスタジアム)

▽2回戦  
専大北上5-0花巻北

▽3回戦  
専大北上10-0水沢

PK5-4  
盛岡北 2-1盛岡三

延長  
盛岡中央8-0盛岡一  
不来方 1-0一関一  
盛岡商業8-0一関工業

花巻東 8-0盛岡大付  
盛岡誠校1-0江南義塾

▽準々決勝  
専大北上3-1盛岡誠校  
遠野 5-0盛岡北  
盛岡中央4-2不来方  
盛岡商業3-0花巻東

▽準決勝  
専大北上4-2盛岡商業  
遠野 1-1盛岡中央  
PK4-2

【得点者】  
佐藤裕翔選手  
吉武皇雅選手3

(評) 準決勝の相手は、プリンスリーグ東北で腕を磨いている盛岡商業。立ち上がりからアンボよくボールを回し、右サイドの齋藤叶羽選手(普3年)の突破が(北上北中出身)の突破が

らチャンスを作った後、相手ゴールを脅かします。しかし8分、相手FWが一瞬の隙をついて裏に抜け出し、見事なシュートを放ち先制を許します。17分、鎌田悠生選手(普3年) (宮野中出身)のパスを受けた佐藤裕翔選手(普3年) (東水沢中出身)のターン&シュートで試合を振り出しに戻すと、95分には吉武皇雅選手(普3年) (北上北中出身)がドリブルからの鋭いシュートで逆転。そのまま前半が終了。42分に同点に迫りつきましたが、52分には齋藤修平選手(普3年) (紫波第一中出身)がサイドを崩して、吉武皇雅選手のゴールを演出。さらに、70分こぼれ球をあきらめずに追いかけた吉武皇雅選手が、試合を決める3得点をあげ、盛岡商業に勝利しました。

▽決勝  
専大北上3-2遠野  
前半0-2  
後半3-0

【得点者】  
佐藤裕翔選手2  
伊藤羽琉選手

(評) 開始早々から相手ゴールに迫りますが、遠野悠

統の粘り強い守備によってボールをゴールに押し込めないでいると、サイドからのクロスに合わせでシュートを放たれ、先制されてしまいます。その後、ヘディングシュートも決められ、2点差をつけられ、0-2で前半が終了します。しかし、2戦連続逆転勝ちしたチームは、後半での巻き返しを実行します。抜け出した佐藤裕翔選手(普3年) (東水沢中出身)が飛び出してきたキーパーの頭上を越えるシュート、まず1点を返します。今度は伊藤羽琉選手(普3年) (胆沢中出身)がヘディングでボールを後ろにさらしてゴールイン。最後は、また佐藤裕翔選手(普3年) (東水沢中出身)が得点をあげて、劇的な逆転ゴール。最後の最後まで気持ちを切らさずとなく、試合終了のホイッスルを聞きました。

前回大会は中止となりませんでしたので、2大会連続2度目の優勝の連覇を達成しました。

専大北上男子サッカー部は8月14日から福井県で開催されるインターハイへ出場します。全国大会の活躍を期待しています。



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

第73回岩手県高等学校総合体育大会

## 専修大学北上高等学校 男子バレーボール部 ベスト8

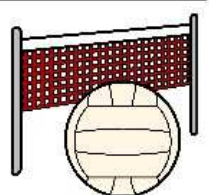


5月28日(金)  
(花巻市総合体育館)  
【男子】  
▽2回戦  
専大北上2-0福岡  
▽3回戦  
専大北上2-0盛岡農業  
▽準々決勝  
専大北上0-2不来方  
※ベスト8



◆菊地亮監督コメント  
新人戦に続いてベスト8  
という結果になりました。  
悔しい気持ちもありますが、さ  
らに高みを目指してほしい  
と思います。応援してくれ  
ている方々に感謝の気持ちを  
忘れず、選手・スタッフ  
ともに優勝目指して頑張ら  
せます。

【優秀選手】  
普通科2年  
小石川 颯友選手  
(金ヶ崎中出身)



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

第73回岩手県高等学校総合体育大会

## 専大北上体操男子団体優勝 3大会連続25度目の優勝



# 専大北上ニュース

専修大学北上高等学校  
TEL 0197-63-2341  
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高橋柚樹  
メディア委員会担当:  
吉田俊哉・佐々木文弥・藤原 悟

## 第73回岩手県高等学校総合体育大会

# 専大北上体操男子団体優勝 3大会連続25度目の優勝



5月29日(土)  
※3大会連続25度目優勝  
(県営体育館)

|        |            |        |           |        |
|--------|------------|--------|-----------|--------|
| ◇団体 優勝 | 専修大学北上高等学校 | 優勝     | 服部圭優      | 68・70点 |
| ◇個人 総合 | 194・50点    | (専大北上) | 青森県・白銀中出身 |        |
|        |            | 準優勝    | 高橋頼生      | 69・95点 |
|        |            |        | 北陸中出身     |        |

|      |      |        |        |           |
|------|------|--------|--------|-----------|
| 第3位  | 米田寛将 | 61・85点 | (専大北上) | 青森県・白銀中出身 |
| 第6位  | 阿保結敏 | 51・15点 | (専大北上) |           |
| 第7位  | 新坂千斗 | 41・10点 | (専大北上) |           |
| 第9位  | 能野拓也 | 38・40点 | (専大北上) |           |
| 第10位 | 鈴木悠斗 | 35・70点 | (専大北上) |           |
| ▽ゆか  | 優勝   | 服部圭優   | 12・60点 | (専大北上)    |
|      | 準優勝  | 高橋頼生   | 11・85点 | (専大北上)    |
|      | 第3位  | 米田寛将   | 11・30点 | (専大北上)    |
| ▽あん馬 | 優勝   | 服部圭優   | 11・35点 | (専大北上)    |
|      | 準優勝  | 阿保結敏   | 10・50点 | (専大北上)    |
|      | 第3位  | 米田寛将   | 10・45点 | (専大北上)    |
| ▽ゆらぎ | 優勝   | 服部圭優   | 12・80点 | (専大北上)    |
|      | 準優勝  | 高橋頼生   | 11・95点 | (専大北上)    |
|      | 第3位  | 米田寛将   | 11・90点 | (専大北上)    |
| ▽跳馬  | 優勝   | 服部圭優   | 12・80点 | (専大北上)    |
|      | 準優勝  | 新坂千斗   | 11・95点 | (専大北上)    |
|      | 第3位  | 高橋頼生   | 11・90点 | (専大北上)    |
| ▽つり輪 | 優勝   | 服部圭優   | 10・80点 | (専大北上)    |
|      | 準優勝  | 高橋頼生   | 9・70点  | (専大北上)    |
|      | 第3位  | 米田寛将   | 9・65点  | (専大北上)    |
| ▽鉄棒  | 優勝   | 服部圭優   | 10・95点 | (専大北上)    |
|      | 準優勝  | 高橋頼生   | 10・95点 | (専大北上)    |
|      | 第3位  | 米田寛将   | 9・95点  | (専大北上)    |

